

## MRX工法協会が総会

## 工法の普及促進に全力



現地視察後、意見交換をする会員

=鹿児島市の陣ヶ丘アグリ・ハウスで

MRX工法協会（会長・植松眞（株）トーヨーアサノ社長）はこのほど、宮崎市で15年度総会を開き、新年度事業計画などを決めたほか、昨年6月に国土交通大臣認定を取得したMRX工法の近況報告などが行われた。

総会の冒頭、植松会長は、「公共事業予算の大枠でMRX工法の普及促進、販売施工に努めてまいりたい」と挨拶。議案審議では、14年度

な縮減等により、建設業界を取り巻く環境が一段と厳しい状況下で、MRX工法は昨年6月に国土交通大臣認定を取得以来、施工販売も順調に推移し、15年3月末までの施工実績として、4万4000棟に達した。今後も、同工法の普及促進、販売施工に努めてまいりたい」と



新年度事業計画等を決めた総会=宮崎市で

中で、福岡県建築都市部住宅課発注の同県公営住宅と田園地建築工事をはじめ、これまでに7件の公共工事に採用された実績等が報告された。

MRX工法（節形状掘削工法）とは、杭を施工する際に特殊な装置により地盤を節形状に拡大掘削し、地盤とセメント材をソイル状にかくはん混合することで摩擦力を大きくすることが可能。また、産業廃棄物である掘削残土量を極端に少なくすることができる工法。